

原子力発電部会セッション

エネルギー基本計画の見直しを見据えた産業界の安全性向上に係る自主的な取り組み
Voluntary efforts to improve nuclear safety in the energy industry with a view to the 6th strategic energy plan

(1) 安全性向上のための ATENA の取り組み

(1) Voluntary efforts to improve nuclear safety in ATENA

*鈴木 孝守¹¹原子力エネルギー協議会 (ATENA)**1. はじめに**

福島第一原子力発電所事故の後、原子力産業界は、このような事故を二度と起こさないという強い決意の下、安全性向上に資する組織による原子力事業者への支援等を通じて、規制の枠に留まらないより高い次元の安全性確保に向けた取り組みを進めているところである。

ATENA は、このような原子力産業界の自律的かつ継続的な取り組みを定着させることを目的に、2018年7月に、原子力事業者、メーカー及び関係団体など19の法人・団体を会員として設立された。ミッションとして、「原子力産業界全体の知見・リソースを効果的に活用しながら、原子力発電所の安全性に関する共通的な技術課題に取り組み、自主的に効果ある安全対策を立案し、事業者の現場への導入を促すことにより、原子力発電所の安全性をさらに高い水準に引き上げる」ことを目指して活動をしている。

2. ATENA の役割

ATENA は、共通的な技術課題の解決のため、原子力産業界の中で以下の役割を担っている。

- ① 原子力産業界全体で共通的な技術課題（テーマ）の解決に取り組み、各事業者に効果的な安全対策の導入を要求する。
- ② 安全性向上という共通の目的の下、原子力産業界の代表者として、規制当局と対話する。
- ③ さまざまなステークホルダーと安全性向上の取り組みに関するコミュニケーションを行う。

①の共通的な技術課題の検討について、ATENA は、新知見・新技術への対応をはじめとした共通的な技術課題に対し、専門性を持って、原子力発電所の効果的な安全性向上を目指し技術検討を行い、検討結果は、必要に応じ技術レポートとして取りまとめ、公開している。[\(https://www.atena-j.jp/report/\)](https://www.atena-j.jp/report/)

さらに ATENA が立案する安全対策（技術レポート等）は、事業者の利害関係に関わらず、安全性を高める上で効果的な対策とし、一部反対する事業者がいる場合も、事業者に対策の導入を要求するとともに、事業者の対策実施状況を確認している。[\(https://www.atena-j.jp/safety_measure/\)](https://www.atena-j.jp/safety_measure/)

②の規制当局との対話について、「デジタル安全保護系のソフトウェア共通要因故障（CCF）への対応」や「安全な長期運転に向けた経年劣化管理」等の技術課題に対し、意見交換を実施している。[\(https://www.atena-j.jp/dialogue/\)](https://www.atena-j.jp/dialogue/)

3. まとめ

ATENA の使命は、原子力発電所の安全性を自主的かつ継続的に向上させるために、原子力産業界が一体となって取り組むようリーダーシップを発揮していくことである。ATENA は、産業界における連携を一層強化して「課題（潜在リスク）の共有～対策実施～実施状況確認」という安全性向上活動のプロセス全体を効率的に進めることを促していく。また、規制当局との間で、課題に対する認識を共有し、安全確保の方向性や、安全上の重要度、対応時期等について、より積極的かつオープンに議論し、産業界の代表者として意見を述べていく。

*Takamori Suzuki¹¹Atomic Energy Association